

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 14 日 (: ~ :)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 12 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	9 人	0 人	0 人	10 人

前回の改善計画	利用開始の時点で利用者・家族とコミュニケーションが取れていないと支援に必要な情報を得ることができず、初期段階での状況変化の対応に遅れが生じてしまう。利用者・家族とのかかわりが情報収集にのみ偏ることなく関係づくりのためのものであることが重要で、お互いに信頼し合い、安心して感情の交流を行うことができる関係づくりをする (ラポール形成)。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用開始での利用者・家族とのコミュニケーションは、ごちちなさを感じることなくスムーズに話すことができている。その後の支援の関わりで良好な関係を持ち続けることができている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2 人	8 人	2 人	0 人	12 人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0 人	11 人	1 人	0 人	12 人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	0 人	12 人	0 人	0 人	12 人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1 人	9 人	2 人	0 人	12 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングやアセスメント等で情報共有ができている。 ・慣れていない利用者には、家族を含め声掛けできている。 ・かかわり初めは緊張するが、アセスメントで事前に情報を元にかかわりを持っている。 ・声掛けを多くしている。生活歴を見ている (情報が含まれている内容)。 ・質問ばかりではなく、何気ない会話を心掛けている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・どこまでその人の事を聞いてよいか分からない。 ・すべてを知る事はなかなか難しい (事前を知りえている情報を話すことで、利用者から疑問に思われる)。 ・関係性に努めているが、関係性が構築できているか分からない。 ・言葉遣いで「わかりますか」と聞いてしまう。「ご存知ですか」と言葉を選んで聞けばよかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>利用者や家族との初期段階での関わりでは質問ばかりの情報収集ではなく先ずはお互いを知る事を重視し、会話をしていく中で関係性の構築を意識していく。職員自身を利用者と家族へ最初の関わりからスムーズに知ってもらい良好な関係を持ち続け、利用者・家族と事業所職員で共感的理解ができる観点で会話をする。職員が単独で関わるだけでなく複数でも関わり、不得意なところがある職員は他職員と一緒に関わりながら支援の方法を考えていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 14 日 (: ~ :)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 12 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	7 人	3 人	0 人	11 人

前回の改善計画
記録ファイルに貼られているプランの内容に即した支援を行えているか、計画の内容が本人と家族の希望しているものなのか、日頃の関わりのなかで確認を行っていく。利用者の「～したい」ことへの認識が浅いと、支援の方向や利用者自身も何のためのサービス利用なのか分からなくなる。ミーティングやカンファレンスで目標達成のために何か必要かスタッフ各々が考え、本人を中心としたプラン (目標) を立てていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
利用者の中には「～したい」声を聞けず、十分に達成できていない方もいた。週毎に利用者へ「～したい」事を聞いていたが、聞けていない部分もあった。利用者の自己実現の支援を、利用者本人の負担になることなく支援できているところもある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0 人	7 人	5 人	0 人	12 人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0 人	7 人	4 人	0 人	11 人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0 人	8 人	4 人	0 人	12 人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1 人	6 人	5 人	0 人	12 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・当面の目標「～したい」ができている。個人のプランを確認しながら取り組んでいる。 ・ミーティングの中で本人と家族の希望を共有している。 ・個人の目標が明確である。継続して聞き取りにより、本人の希望がプランに反映できる (行きたい所、したい事)。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・実践した内容が記録として残せていないのではないか。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
利用者自身の発する「～したい」ことを聴き取り、より話題を発展して「どうしたいのか? 今何がしたいのか?」を日々のミーティングを通して職員が積極的に発言し家族へも伝えていく。即時的に対応をしていき、利用者の達成感がどこまで手が届いているのか? 次はどうしたいのか? を確認しながら実践した内容を記録へ残す。ミーティングやカンファレンスで職員が共有し、次の計画へ落としていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30年 12月 14日 (: ~ :)

3. 日常生活の支援

メンバー 12人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	7人	3人	0人	10人

前回の改善計画	<p>利用者の「以前の暮らし方」の把握がまだ不十分で、「以前」とはいつの事なのかについても分からない状況。利用者自身日々の生活で達成したい事がどのような状態であるか見定める必要があり、スタッフそれぞれの観察で情報を持ち寄り活発な意見交換を行えるよう努める。開かれた意見交換を行ってより深い掘り下げをし、「以前の暮らし方」へ近づけられるようミーティングで話し合っていく。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>利用者との会話のなかですべてではないが以前の暮らし方を聞き、さらに詳しく聞けるようにはなっている。話題から利用者本人のこれまでの暮らしを探ることができているが、その詳細を記録としてまとめることができていない。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0人	0人	9人	3人	12人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3人	7人	2人	0人	12人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1人	6人	4人	1人	12人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3人	9人	0人	0人	12人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1人	9人	2人	0人	12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい本人が話す部分を把握できている。 ・本人の気持ちや体調の変化は気づき、共有できている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者本人や家族から「以前の暮らし」を聞くことができていないため、10個以上が把握できていない。 ・観察が十分にできていない。 ・利用者への関わりが介助方法によるものを中心となり、以前の暮らし方（できる事・できない事）等を知ったうえでの対応が少ない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>利用者の以前の暮らしを現在の状態となる少し前の頃とすることで、少し前の状態を職員は本人や家族へ聞き取りをする。無理な負担をかけずに以前の暮らしを本人が取り戻せるようミーティングやカンファレンスで情報を共有、日々の記録の中に利用者のエピソードを記録、暮らしのまとめシート・プランへつなげる。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 14 日 (: ~ :)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 12 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	5 人	5 人	0 人	10 人

前回の改善計画
地域がどのエリアを差すのか、資源とは何かがよく分かっておらず、関わりを目の当たりにしている状況でも認識がされていない。事業所以外でも利用者が地域の人たちと関わった内容を記録し、どういった協力者がいるか記録をすることで知るようにする。身近な人（支援者）を把握し地域とのつながりを通して、利用者のみではなくその環境（地域とのつながり）を観察・確認していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
利用者が自宅（地域）での生活において近所の方々に様子を見守られている。利用者宅訪問時、職員も地域の方とあいさつを交わし利用者の生活状況の見守りについて協力をお願いしている。家族や近所の方との関わりを記録に残すこともしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0 人	3 人	7 人	1 人	11 人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0 人	8 人	2 人	1 人	11 人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0 人	6 人	4 人	1 人	11 人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1 人	3 人	6 人	1 人	11 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の希望する事を確認し、個別に馴染みの美容室や整骨院へ出かけている。 ・イベント等で地域住人と関わりを持っている。民生委員や駐在所職員の来所がある。 ・何かあった時に地域の方が支えてくれた事例があった。 ・利用者本人の馴染みの商店や図書館へ出かける支援ができた。 ・利用者の近所の人との関係を見ることができている（把握）。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員との関わり方、役割が分からない。 ・地域の方（町内会など）と直接接する機会が少ない職員もある。 ・民生委員や地域の方から利用者の事を聞かれてもどこまで話したらいいのか分からず、地域資源としてどのように対応すればいいのか分からない。（利用者プライバシーの保護） 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>利用者の家族以外での地域の人たちとのかかわりを職員は情報を伝え合い、本人の暮らしに必要な地域の資源を共有・把握していく。本人のこだわりや培ってきた地域での関係性を理解しながら、地域の方々とは必要な部分の情報をプライバシーに配慮しながら的確に情報交換をする。また、事業所の連絡先を伝え、何かあった時には連絡をもらえるようにする。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 12 月 14 日 (: ~ :)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	12 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	8 人	1 人	0 人	10 人

前回の改善計画	利用者と家族の状況は毎日の記録とカンファレンスの情報をまとめ、早い段階で情報を共有できるような方法をとる。記録の中に関わりのヒントがあるので事業所のみでの解決策を講じず、利用者・家族の「できる」ことに着眼しその力が発揮できる方法を検討していく。地域の協力者や関わりのある支援を使い、補完していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	日々のミーティングでも利用者や家族の情報を伝えあい、共有を行っている。状況を見て利用者に必要な支援(利用)を提供している。事業所のみでの支援で難しいところもあり、家族や地域の方へも協力を求め相談を行っている。直接的・間接的に協力を得ることができている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1 人	6 人	4 人	0 人	11 人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5 人	5 人	2 人	0 人	12 人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3 人	9 人	0 人	0 人	12 人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4 人	8 人	0 人	0 人	12 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・通い、訪問、泊り利用をその日その時の利用者や家族の状況を見ながら、職員から対応を柔軟に行えることができている。 ・計画の調整について、利用者の状況を見ながら妥当適切に提供されている。 ・通いや泊まりの利用枠を、利用者同士お互い様に譲り合って調整をしている。 ・記録をとり、カンファレンス・ミーティング等で話し合っている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用について家族の介護状況を勘案して調整することが多く、本人の気持ちになって利用計画を考えるのが難しいことがある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>利用者の状態により家族が希望するサービス内容は異なるが、利用者・家族が悩みや介護のつらさを相談することで家族ひとりひとりが利用者本人の介護について考える機会をもてる。家族が本人にとってどういう方法をとることが良いのか、小規模多機能の対応は通い・泊り・訪問以上に利用者や家族の気持ちを汲み取りながら、柔軟な発想で利用者や家族自身が解決できる相談支援を行っていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 14 日 (: ~ :)

6. 連携・協働

メンバー 12 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	5 人	3 人	0 人	10 人

前回の改善計画	<p>保育園や小中学校、施設でのイベントで地域住民との交流を引き続き連携調整を行って実施していく。これまで携わることが少なかったスタッフも連絡や調整に関わりを持つようにし、運営推進会議や他事業所との会議への参加もしていく。今後新しい事業所との交流、情報交換も行っていく。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>スタッフに担当振り分けを行い、保育園や小中学校との交流会・イベントの連携・調整を行うことができています。役割分担をすることでいろいろなスタッフに関わることができた。担当者会議など外部へのスタッフ参加は、業務の都合などから難しい状況だった。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	0 人	2 人	3 人	7 人	12 人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0 人	2 人	2 人	8 人	12 人
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0 人	6 人	2 人	4 人	12 人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1 人	10 人	0 人	1 人	12 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 各職種、機関、団体の活動イベントではそれぞれ職員が役割を持ってできている。 以前から来所して下さるボランティア団体の方以外にも、来ていただいている。 近隣の住人の来所もあった。(かのかんへ入りやすいとの意見が聞かれている) 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 他サービス事業所やサービス担当者会議への参加は一部の職員は参加しているが、参加できていない職員もいる状況。自施設の運営推進会議以外に参加したことがない。 自治体や包括支援センター、他の事業所の情報も分からない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>地域包括支援センター等の研修会へ参加した職員は他職員へも必要な情報を伝え、共有する。職員それぞれが利用者本人を中心として近所の方や関わりのある人、利用している事業所と日頃から顔を合わせた関わりを持てるようサービス担当者会議への参加をする。訪問や送迎時にも地域の方へ積極的に声をかけ、互いに支援を連携できる関係をつくる。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30年 12月 14日 (: ~ :)
------------------	-----	--------------------------

7. 運営	メンバー	12人
-------	------	-----

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	8人	2人	0人	10人

前回の改善計画	小規模多機能型居宅介護の目的や役割について、利用者がいつまでも住み慣れた地域で生活し事業所は利用者と地域のつながりが途絶えないよう機能するのが重要。運営推進会議での地域の困り事をスタッフへ情報を伝え共有し、利用者支援のため地域の状況を把握していくようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	運営推進会議へスタッフが参加している。民生委員や市職員など外部の声を聞く機会をスタッフも持つことができ、知る事ができている。運営推進会議で地域の困り事を確認することはできたが、地域としての課題を把握するにとどまっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	0人	6人	5人	1人	12人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1人	11人	0人	0人	12人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0人	5人	4人	2人	11人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0人	5人	4人	2人	11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議へスタッフが参加することができ、スタッフが外部の意見を聞いて知る事ができている。 運営推進会議で事業所の取り組みや結果の報告、地域の事について情報交換をしている。事故やヒヤリハットでの家族からの意見を受け止め対応している。 意見や苦情は職員間で共有している。地域からでた意見も聞き、議事録で参加できなかった職員も共有している。民生委員からでた地域での困り事は管理者ケアマネからも情報提供など行っている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 地域の意見をうまくくみ上げていない。事業所と地域の協働したと取り組みが行えていない。 スタッフは意見を言えていないと思う。地域とのつながりを途絶えないようにしていたが、今できているか不安。運営までの反映ができていない。発言できるスタッフ、できないスタッフがいる。 運営推進会議以外での地域の方々と接する機会がない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
運営推進会議での地域の困り事を職員それぞれが認識し、事業所の理念(いきたいの支援)を意識して利用者の支援を行っていく。地域での課題を確認し、職員それぞれが登録者以外でも地域の困り事を解決しける事業所での働きかけを考えていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 12 月 14 日 (: ~ :)
------------------	-----	-----------------------------

8. 質を向上するための取組み	メンバー	12 人
-----------------	------	------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	10 人	0 人	0 人	10 人

前回の改善計画	<p>職場内研修、外部研修への参加を引き続き計画して実施し、職員のレベルアップ、事業所全体の質の向上の取り組みを行っていく。リスクマネジメントの話し合いを活発化させ、振り返りや再検討をすることによって意識を継続して持ち続けられるようにする。ヒヤリハット書式の分析を活用してリスクを放置せず、スタッフ自身がまだ分かっていない気づきを管理者との面談で明らかにしていく。事故等を繰り返さない意識をスタッフ全員で持つ。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>職場内外の研修実施を計画して実施をすることができている。事故報告やヒヤリハットなど、職員への周知・対策についてすぐに行うことができているが、振り返りや再検討については機会を設けることができていない。意識を持ち続けることについても、同じ事故・ヒヤリハットを起こしてしまうことがある。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	1 人	10 人	1 人	0 人	12 人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0 人	5 人	5 人	2 人	12 人
③	地域連絡会に参加していますか	0 人	1 人	2 人	9 人	12 人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1 人	8 人	3 人	0 人	12 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 外部研修への参加をし、職場内へフィードバック研修をすることができている。研修の担当を毎月決めることもできている。ミーティングで出た意見・注意する事を共有し、業務日誌も活用して取り組んでいる。 内部研修に参加することで職員のレベル向上や気づきにつながっている。ヒヤリハットなど報告書を読みなぜもう少しフォローできなかったのか、考えるようになった。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 研修参加の報告で知り得た情報を職員へ伝えるが、十分な理解をしてもらえる充実した内容のものができていない。ヒヤリハットなどを分析できない職員もいる。 話し合いの中で注意する事を伝えあっているが、事故・ヒヤリハットがまた起きている。 リスクマネジメントは職員自身の気づきが浅いため、事故や・ヒヤリハットを起こしてしまう。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>リスクマネジメントの内容理解を深めていくため積極的に外部研修の機会をつくり、内部での勉強機会もつくっていく。職場内での研修でも振り返りの機会をもつ必要がある。「なぜ」「どうして」の観点をミーティングで話し合い、職員それぞれが考え意見を話せるようにする。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 14 日 (: ~ :)

9. 人権・プライバシー

メンバー 12 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	7 人	1 人	0 人	8 人

前回の改善計画
職場内研修、外部研修の積極的な実施と参加をすることで人権・プライバシーの保護を意識しているが、知らず知らずに侵害しているのではないかと懸念がある。スタッフ一人一人に認識のずれがあり、疑問に思う者とそうでない者と別れる。かかわりの中で何が利用者の行動を制止してしまっているのか、万が一の対応の際に代替案を考察できるようにしていく。成年後見制度、個人情報の取り扱いなどについてもスタッフ間での共通認識がもてるよう学習の機会を設けていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
研修参加で学習の機会を持っている。スタッフより対応について「もしかしたら」との疑問視の意見が上がるのが以前に比べ増え、日頃から意識しているところがみられる。利用者の行動に対しても安全を確保するための対応をとりながら、今の状態よりより良い方法はないかとの想像を話し合うこともしている。成年後見制度など各制度についても学習の機会はあるが、十分な認識を持つところまではいけていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	6 人	3 人	2 人	1 人	12 人
②	虐待は行われていない	9 人	3 人	0 人	0 人	12 人
③	プライバシーが守られている	4 人	8 人	0 人	0 人	12 人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3 人	5 人	1 人	1 人	10 人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4 人	8 人	0 人	0 人	12 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 個人の情報を管理し、必要適切ところで伝えている。利用者本人の訴えに向き合っている。本人と家族の意向を尊重した相談支援を行っている。 虐待は行われていない。スタッフ全員でプライバシーは意識し守られている。安全のためミトン使用している利用者があるが、話し合いや対応の工夫、家族との相談や関わりで改善をしている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 家族からの依頼でもあるが、危険防止のため限定的にミトン使用をする利用者がある。 成年後見制度の活用があるか分からない。意味が分からない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
サービス提供や支援、関わりの中で利用者が話すことや行動を妨げない事は前提とし、訴えを側で聴き取り利用者自身が気持ちを十分に話すことができる傾聴と受容の姿勢を崩すことなく対応する。利用者に対する職員の対応を他職員が客観的に観察し、気づいていないところがあれば注意・指導を行っていく。	